

妙高高原南

平成23年11月9日

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました！

昨年度に引き続き、「知・徳・体」全ての教育活動で、『**気づき、考え、行動する**』子を目指して取り組んでいます。学校が、1学期末にとらせていただいた保護者の皆様へのアンケートや児童アンケート及び1学期に見られた児童の姿を基に、本年度の中間評価を行いました。

アンケート集計結果と2学期からの主な取組について、「知・徳・体」の3分野と学校経営全般についてまとめました。既に改善・実施している内容もあります。ご覧になって、お気づきの点やご意見がありましたらご遠慮なく学校までお知らせください。

1. 「進んで自主学習に取り組む子」を育てるための主な取組

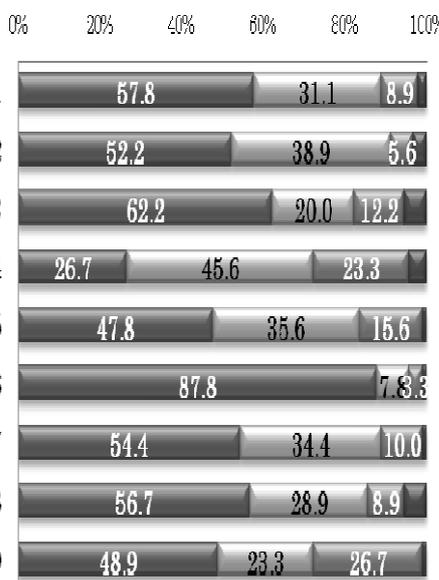
- ①自主学習に結びつく課題意識を高める授業の工夫
- ②個別指導や家庭学習をフォローする「学びの広場」の開設
- ③家庭学習習慣を身に付けるための家庭学習カードの工夫



■ 児童アンケート

<学習について>	
1	勉強の内容が分かる。
2	特に、算数の内容が分かる。
3	算数の授業は楽しい。
4	授業が始まる前に学習準備をし、時間になったら席についている。
5	授業中、よく班やグループで話し合ったり、自分の考えを発表したりする。
6	生活科や総合的な学習の内容が好きだ。
7	生活科や総合的な学習では、新しいことや不思議だと思うことをたくさん見つけたり、調べたりしている。
8	読書を含めた家庭学習を、低学年は30分、中学年は45分、高学年は60分している。
9	自分から進んで家庭学習をしている。

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



←以下同様

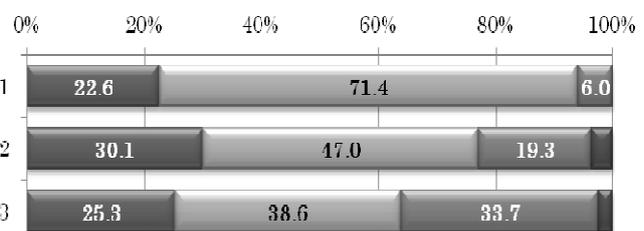
◆児童のようす◆◆◆

- ◎教え合い、学び合い、発表し合う姿が増えた。
- ◎「学びの広場」では、子どもたちが主体的に学習している。誤答を確実に直す、やるべきことをきちんとやる姿勢が身についてきた。
- ◎宿題以外の家庭学習に取り組む児童が増えた。
- ▲ドリル学習を好み、じっくり考える問題や文章題を苦手としている。

■ 保護者アンケート

☆過去3年間において、項目1と2の肯定的評価が最高値

<学習について>	
1	お子さんは、学校の学習内容を理解している。
2	お子さんは、読書を含めた家庭学習を、低学年30分、中学年45分、高学年60分している。
3	お子さんは、自分から進んで家庭学習をしている。



2 学期からの主な取組

①授業と授業をつなぐ家庭学習を意識した授業改善

- ・家庭学習を授業の導入時に活用したり、自分の言葉で説明することで言語活動の充実を図ったりする。また、習得したことを活用する家庭学習課題を提示することでさらに、意欲の喚起と基礎基本の定着を図る。
- ・TT(教師2人体制による指導)を有効活用し、指導の充実と学習進度の確保に努める。

②家庭学習の定着

- ・家庭学習カードや学級だよりを通して、自主学習の取組の様子や具体的な課題や成果等を家庭に伝え、さらに連携を深めて家庭学習の定着を図る。

③個別指導の充実

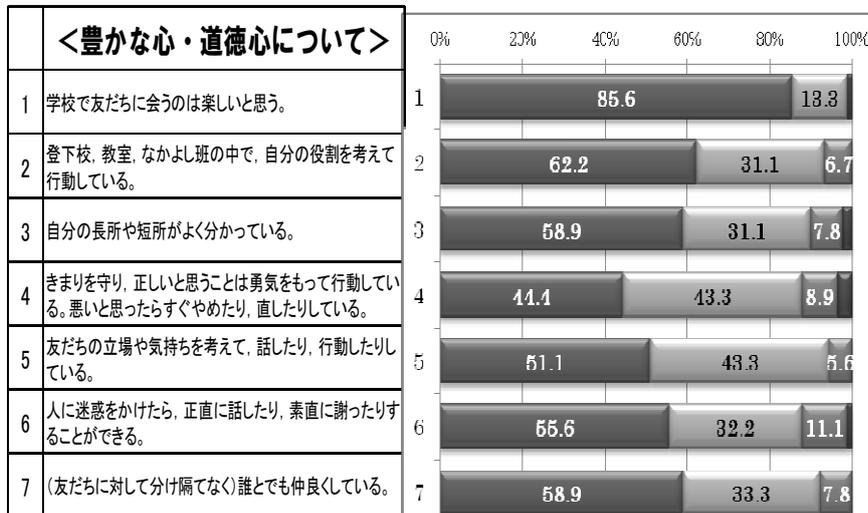
- ・学びの広場をより一層充実させ、学びの積み重ねを児童自身、そして保護者が分かるようにカードを工夫して取り組む。 ※4月～10月の利用者数 延べ 1,377人
- ・県の配信テスト(3年以上国語・算数)結果を分析し、全体指導すると共に、児童に合わせた指導(担任の1対1対応・学びの広場で反復学習)を見極め充実させる。

2. 「おおらかな心や思いやりの心を持ち、公正・公平・正義をつらぬこうとする子」を育てるための主な取組

- ①行事や特別活動と連動した道徳授業の実施
- ②年齢や立場の違う人や仲間との交流の場の設定と振り返り活動の充実
- ③「いじめ見逃しゼロ運動」に向け、児童自ら発信し、行動する場の設定



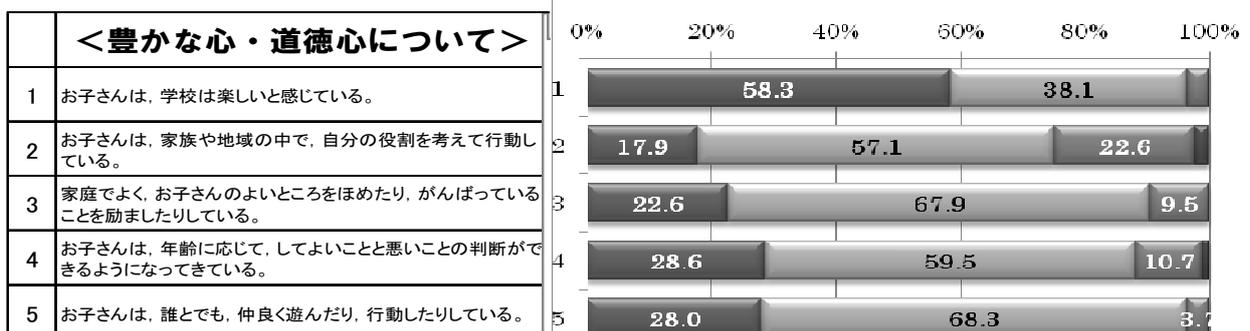
児童アンケート



◆児童のようす◆◆◆

- ◎友だちがうまくいったり、頑張ったりしている姿を素直に褒め合える。
- ◎交流場面において、優しく接したり、誰でも関係なく助け合おうとしたりする姿がよく見られた。
- ▲正直に話したり、素直に謝ったりできないためにトラブルになることがある。
- ▲プール開放時等、接する人や場によって自分勝手に不公平な言動が見られることがあった。

保護者アンケート



2 学期からの主な取組

①集団が高まる指導と場の工夫

- ・ 2 学期の行事やなかよし班の活動の中で、集団の目標を決め、目標達成のために一人一人が何をなすべきか、具体的なめあてがもてるように支援し、振り返り活動で児童が自己評価したり、互いに認め合ったりする場を設定する。
- ・ 11 月のひまわりフェスティバルは、自分たちが楽しむだけでなく、お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝えるために思考錯誤する活動を設定する。

②公正・公平・正義感の育成

- ・ 9 月に「正直」について考える全校道徳やソーシャルスキルトレーニングを行う。
- ・ 行事と連動した道徳の授業を学年間で見合ったり、代表委員会等を活用し、児童自らより良い学校になるための働きかけができるように支援したりする。

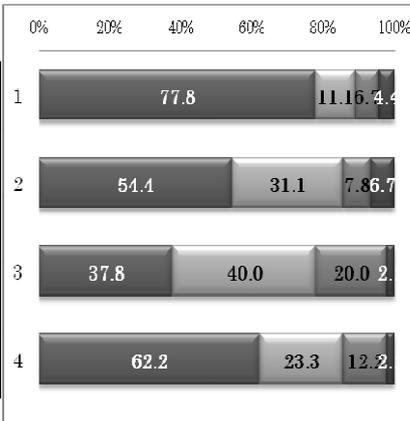
3. 「毎日進んで汗をかきまで遊んだり、運動したりする子」を育てるための主な取組

- ①一人一人のファイルに学習カード等を蓄積していく個人カルテの作成
- ②週 3 回の業間体育と原則全員参加の課外体育の実施
- ③家庭と連携した「メディアコントロール」の実施



児童アンケート

<健康・体力づくりについて>	
1	体を動かして遊んだり、体育でいろいろな運動に取り組んだりすることが好きだ。
2	業間運動で、マラソンや鉄棒、縄跳びに、目標をもって取り組んでいる。
3	体育の授業で、体育(カルテ)を利用して、できることが増えたり、できるようになるための練習方法を工夫したりしている。
4	メディアコントロール「平日2時間 休日3時間」の約束を守り、規則正しい生活を送っている。

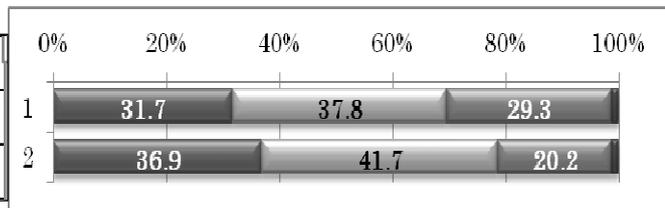


◆児童のようす◆◆◆

- ◎楽しんで運動したり、目標に向かって粘り強く取り組んだりする児童が多い。
- ◎運動を通して、周りの人に感謝する心が育っている。
- ▲メディアの約束を守ることができない児童が固定化している。

保護者アンケート

<健康・体力づくりについて>	
1	お子さんは、メディアコントロール「平日2時間 休日3時間」の約束を守り、規則正しい生活をしている。
2	お子さんは、良く外で遊んだり、運動したりしている。



2 学期からの主な取組

①メディアコントロールとすこやか週間の工夫

- ・ すこやか週間で当校のメディアコントロール実態を資料として提示し、家庭への啓発を行う。また、よりよい生活習慣を目指して、個別の支援も継続していく。

②体育の授業改善と運動遊び環境の整備

- ・ 体力テストを分析し、個人カルテをもとに個に応じた授業課題を設定し指導にあたる。
- ・ 妙高高原地区合同マラソン大会に向けて、目標をもって練習に取り組めるような場と時間を設定し、チャレンジカードを工夫して継続的な取組とする。
- ・ 休み時間に、楽しみながら運動遊びができる環境づくりや整備を行う。

